

埼玉県学力・学習状況調査の 活用について



＜活用して頂くに当たって＞

○数値やコメント等は編集せず
に活用してください。

○各数値は令和元年度
西部地区学力向上推進協議会
(令和2年1月24日)の時点での
数値を使用しています。

令和○年度
西部教育事務所

1 はじめに...



全国学力・学習状況調査結果より

児童生徒質問紙

全国と比べて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組や、良好な学級経営に向けた取組が進んでいることがうかがわれる。

質問事項	小学校		中学校	
	埼玉県	全国	埼玉県	全国
前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	67.5	62.5	64.8	55.8
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会等で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	81.2	74.0	81.2	71.6

学校質問紙

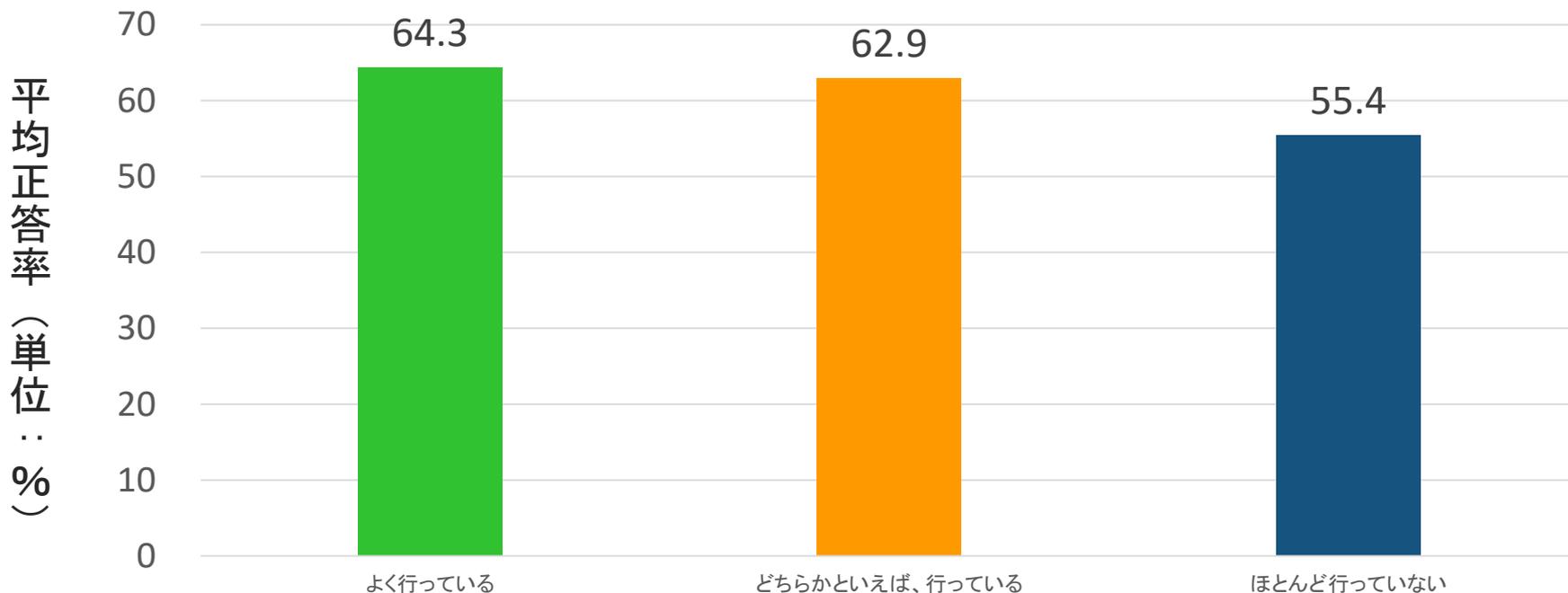
全国と県の学力調査結果を併せて分析し、教育指導の改善や指導計画等への反映を行っているという回答した学校の割合が全国に比べ高い。

質問事項	小学校		中学校	
	埼玉県	全国	埼玉県	全国
全国学力・学習状況調査の結果を自治体独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている	54.7	42.9	40.7	35.6

全国学力・学習状況調査結果より

学校質問紙調査結果と学力との関係

全国と県の調査を併せて分析し、PDCAサイクルを機能させて指導改善に取り組んでいる学校は、全国学調の平均正答率が高い傾向がみられる。



※全国学調の学校質問紙「全国学力・学習状況調査の結果を自治体独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」の回答状況と、学力(平均正答率)との関係

全国学力・学習状況調査と県学力・学習状況調査

全国学力・学習状況調査

- 問題が公表されている
- 今求められている能力や授業をどのようにやっていくのかという視点で授業の仕方の内容を問題としている。
- 調査対象者が毎年違う

- 調査問題の分析・活用
- 学習内容定着の見届け
- 授業の改善・充実

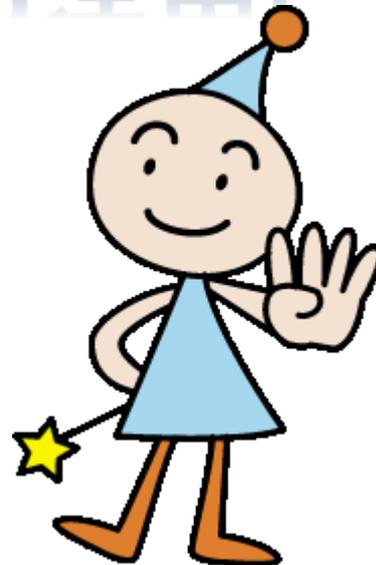
県学力・学習状況調査

- 児童生徒一人一人の伸びや学校の伸びがわかる
- 調査対象者を継続して試みることができる
- 問題が公表されていない

- 調査結果の分析
・学力の伸びと学校の取組や指導との関係
- 一定期間に実施された取組や指導の成果を客観的に把握
- 学力を伸ばした指導方法を共有し授業改善・充実
- 質問紙調査から実態把握
(分析支援プログラムの活用)

児童生徒一人一人の学力の向上

2 埼玉県学力・学習状況調査 の活用について



- 個人結果票
- 帳票28、9、40
- 帳票33、42
- コバトンのびのびシート
- 分析支援プログラム
- おまけとして…
帳票27、2、10



個人結果票の活用

- 学習意欲を高めること
- つまずきを早期に発見し、解消すること

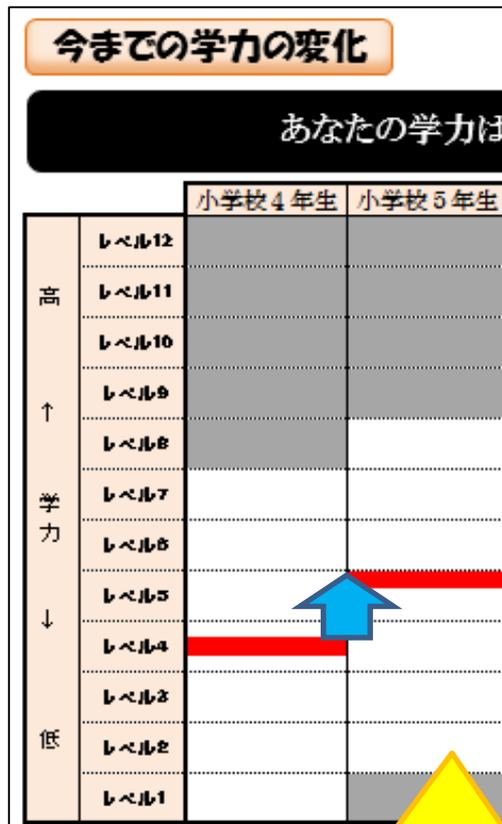
児童生徒 には

- 一人一人の1年間のがんばりや伸びを認めたり、ほめたりするなどの言葉かけを大切にします。
- 夏休み以降の学習計画のアドバイスをします。

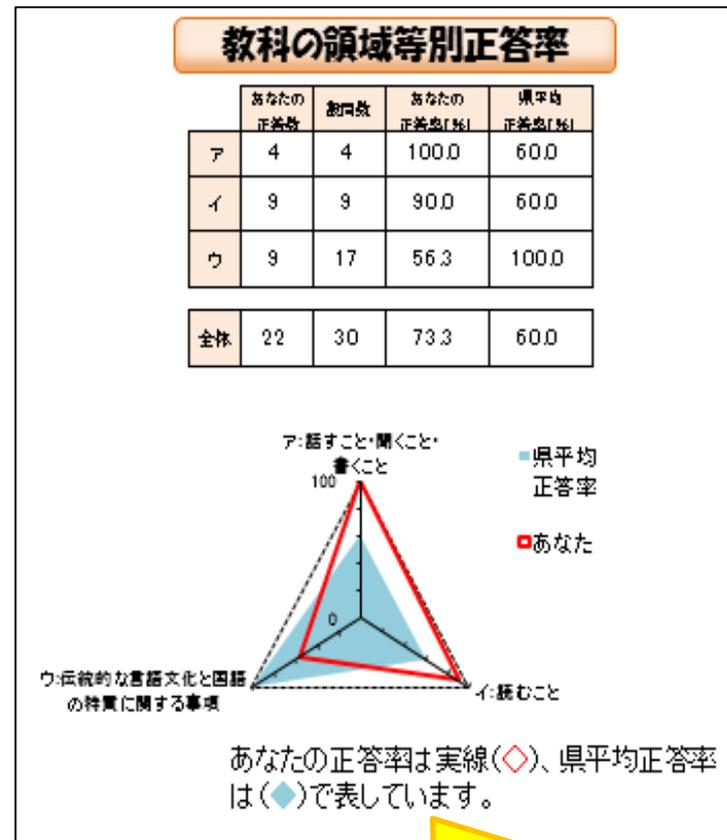
保護者 には

- 可能な限り時間をかけ児童生徒のよさや課題を丁寧に伝えます。
- 伸びたところをほめるとともに、苦手領域を中心に家庭学習を行うよう伝えます。
- その際、県のホームページから本調査の「復習シート」が活用できることを伝えてください。

<参考> 声かけのポイント



学力が伸びたことをほめる。

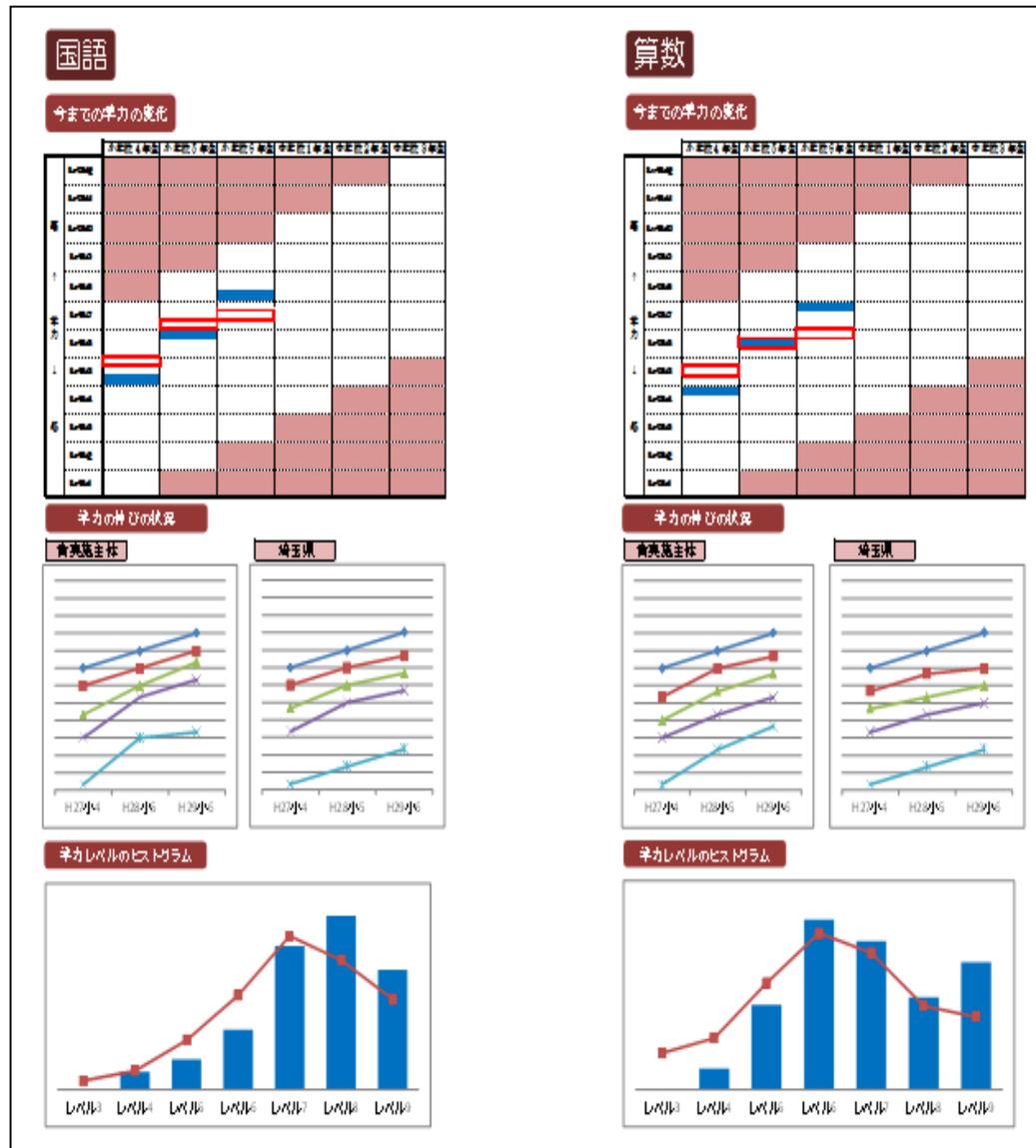


よくできている領域をほめる。

アドバイス文も参考にしてください。

県学力・学習状況調査の結果の活用(学校の概要を知る)

帳票28
2ページ目

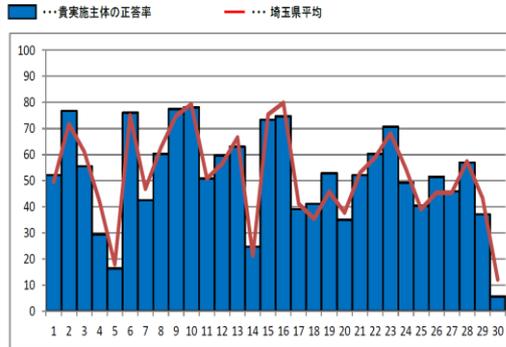


県学力・学習状況調査の結果の活用(学校の概要を知る)

帳票28
3ページ目

国語

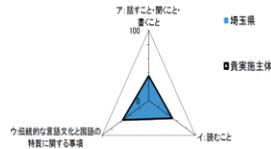
設問別正答率



教科の領域等別正答率

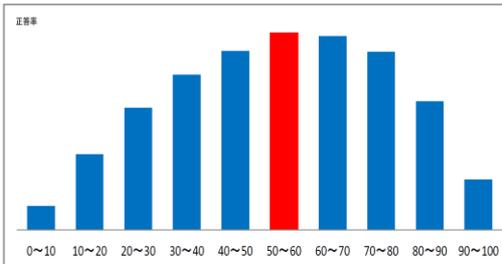
貴実施主体の正答率は実線(◇)、埼玉県平均正答率は(◆)で表しています。

設問数	正答率(%)	埼玉県平均正答率(%)	
ア	4	35.1	37.0
イ	9	50.8	49.8
ウ	17	55.8	57.2
全体	30	51.6	52.3



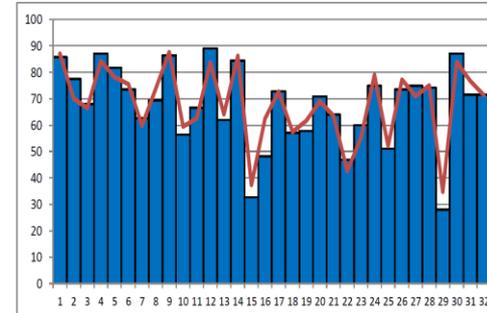
県全体の正答率分布

貴実施主体の正答率は、県全体の正答率分布の **赤い棒** に含まれています。



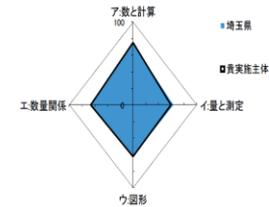
算数

設問別正答率

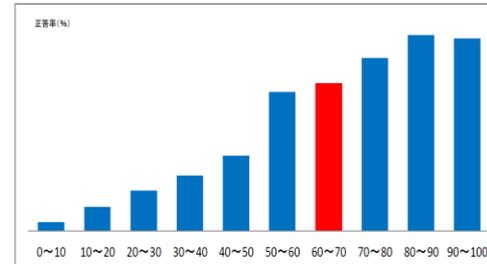


教科の領域等別正答率

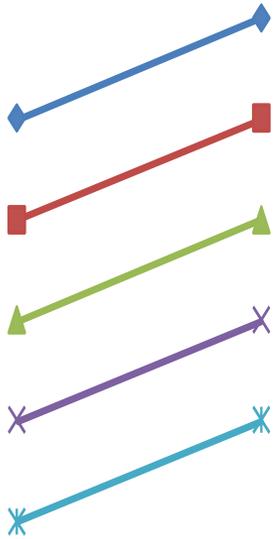
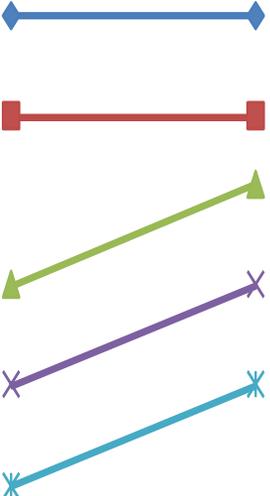
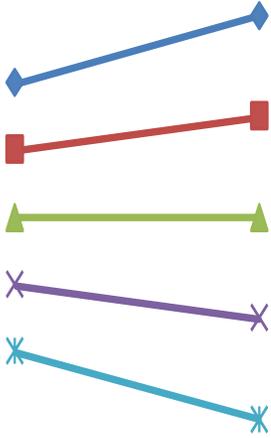
設問数	正答率(%)	埼玉県平均正答率(%)	
ア	12	75.3	74.0
イ	6	59.5	63.4
ウ	6	62.4	61.9
エ	8	66.4	67.7
全体	32	67.7	68.2



県全体の正答率分布



グラフの見方

どの分布も右肩上がり	傾きにばらつき①	傾きにばらつき②
		
<p>上位層、中位層、下位層の、いずれの層の児童生徒も学力を伸ばしている。</p>	<p>上位層に伸びは見られないが、中位層、下位層の児童生徒の学力は伸びている。</p>	<p>上位層は伸びているが、中位層にほとんど変化はなく、下位層の学力は下がっている。</p>

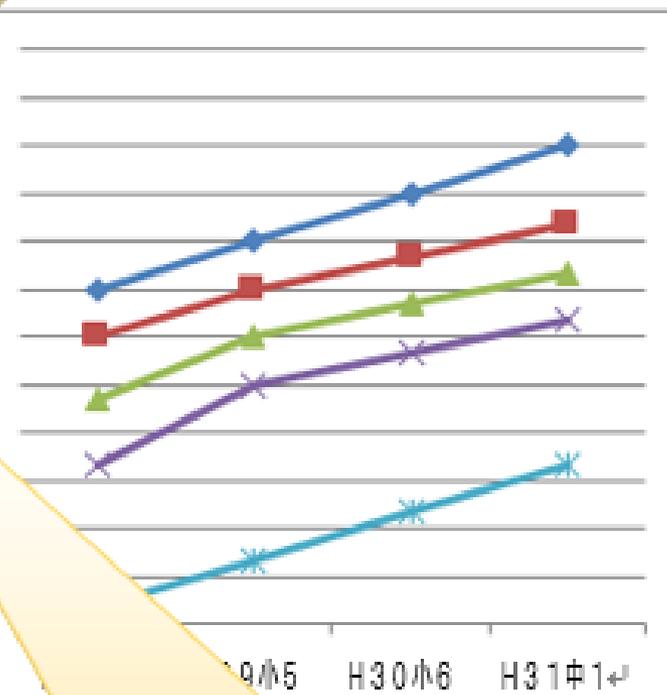
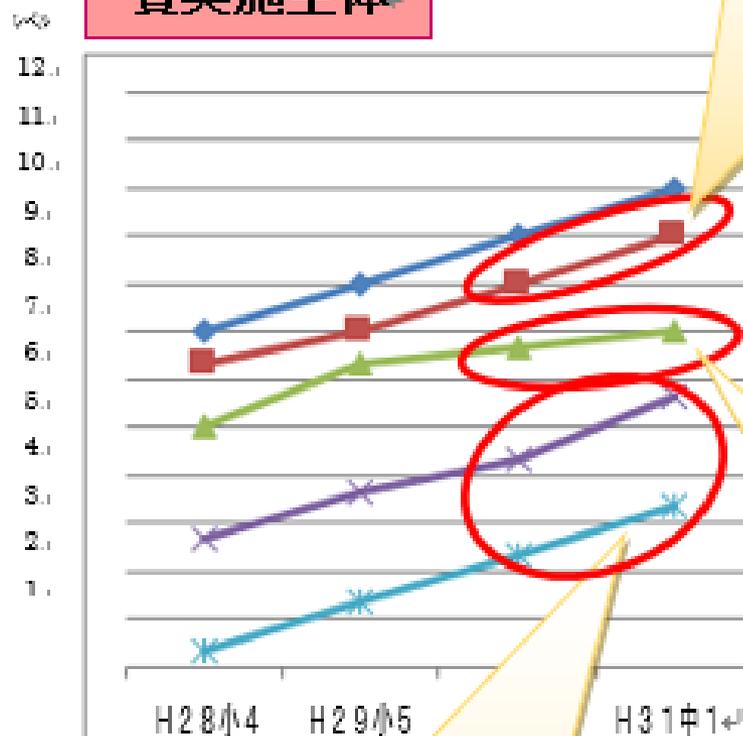
- ◆ ⇒ 最大値（最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル）
- ⇒ 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童生徒が属する学力レベル）
- ▲ ⇒ 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童生徒が属する学力レベル）
- × ⇒ 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童生徒が属する学力レベル）
- * ⇒ 最小値（最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル）



学年の中で上位層の学力のレベルが高い
⇒上位層を伸ばす工夫があったのではないか。

貴実施主体

埼玉県



下位層のグラフの傾きが
県のグラフの傾きより大きい
⇒下位層への充実した支援が
あったのではないか。

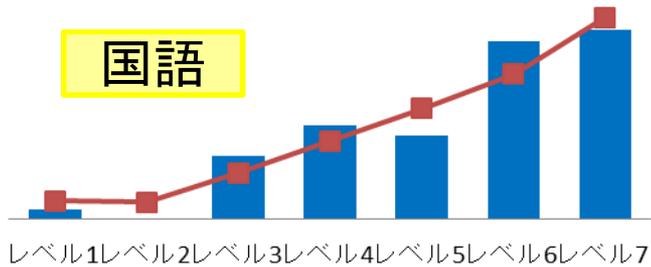
中位層の学力が伸び悩んでいる
⇒前学年でのつまずきがあるのではないか。

※【帳票26】では、各学年・各教科の「学力
の伸びの状況」を一覧で見ることができます。

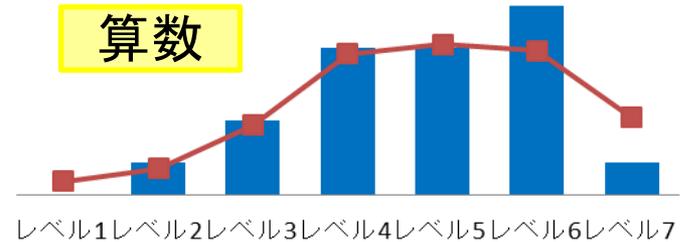
学力の分布

小4

国語

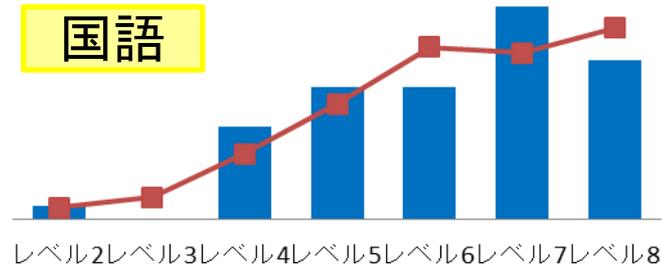


算数

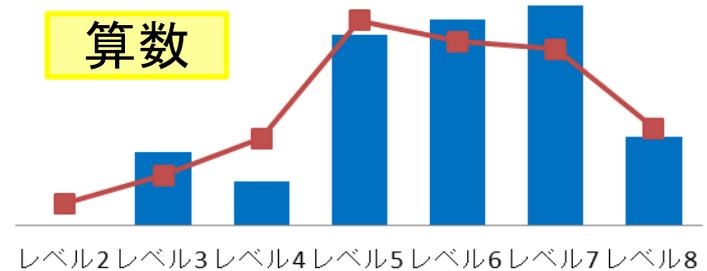


小5

国語

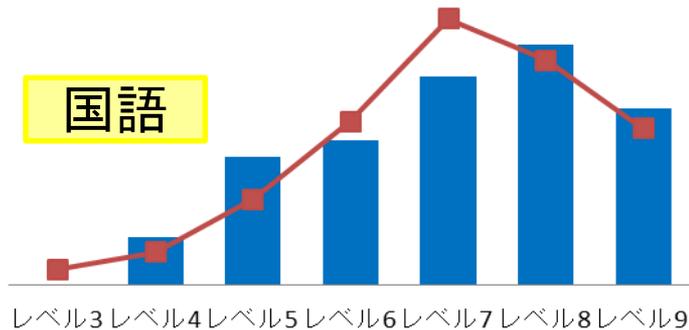


算数

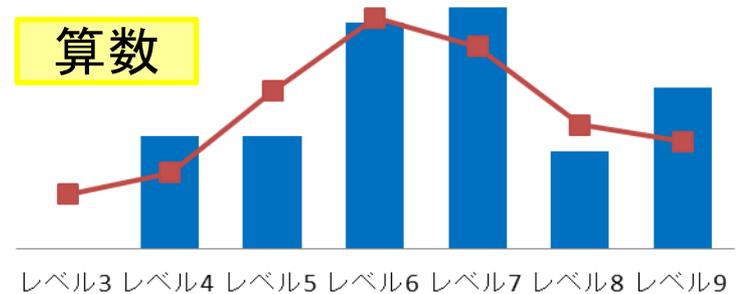


小6

国語



算数



どの層に着目して指導したらいいのかな。

09 学校用

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査(小学校5年生)

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]

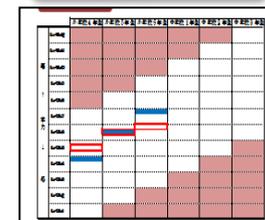
〇〇市立〇〇小学校

- ・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。
- ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。
(例) H31レベル11-A(33)－H30レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	H30小4 レベル (平均)	H31小5 レベル (平均)	平成30年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	704	49,241	68.2	5-B	6-B	3
市町村教育委員会	6	527	63.4	5-C	6-C	3
貴校	1	147	67.7	5-B	6-B	3

帳票 28

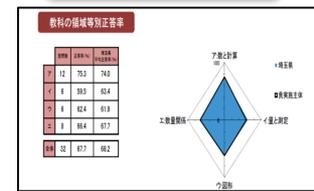


分類・区別集計結果

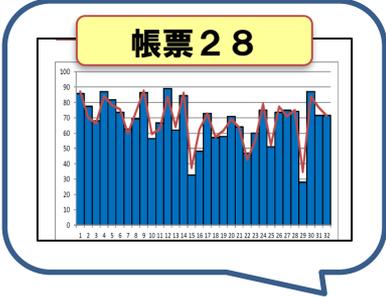
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率		
			埼玉県	市町村教育委員会	貴校
教科の領域等	数と計算	12	74.0	69.7	75.3
	量と測定	7	63.4	56.1	59.5
	図形	6	61.9	60.4	62.4
	数量関係	7	67.7	61.8	66.4
評価の観点	算数への関心	-	-	-	-
	数学的な考え	6	71.7	65.4	69.8
	数量や図形	14	66.2	61.7	66.2
	数量や図形	12	68.3	64.2	68.1
問題形式	選択式	13	66.4	61.8	66.9
	短答式	19	69.0	65.1	69.2
	記述式	1	71.4	64.7	71.4

記述式
ができて
いるか
な。

帳票 28



帳票 9



無解答率はどうかかな。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点				問題形式			埼玉県		市町村教育委員会		貴校		困難度レベル	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)		
1(1)	小数のたし算をする	1/100の位までの小数の加法の計算ができる	○					○				○			87.0	0.3	87.1	0.2	85.7	0.0	5-B
1(2)	小数のひき算をする	1/10の位までの小数の減法の計算ができる	○					○				○			70.0	0.6	68.5	0.8	77.6	0.0	6-C
1(3)	小数÷2けたの数を計算する	除数が整数である場合の小数の除法の計算ができる	○					○				○			66.5	4.0	66.4	2.8	68.0	2.0	6-B
1(4)	分数のひき算をする	同分母の分数の減法の計算ができる	○					○				○			84.3	1.6	83.5	0.9	87.1	0.7	5-C
2(1)	ある数が1万を何個集めた数であるかを選ぶ	万の単位について理解している	○									○	○		78.2	0.3	73.4	0.8	81.6	0.0	5-B
2(2)	ある整数より大きい分数をすべて選ぶ	分数の大きさについて理解している	○									○	○		75.5	1.3	68.3	0.9	73.5	0.7	5-B
2(3)	四捨五入してある数になる整数の中で一番大きい数を選ぶ	四捨五入した整数から、四捨五入する前の整数を求めることができる	○					○				○	○		5				62.6	0.7	6-A
2(4)	10桁の数の中で一番小さい数を求める	億を用いる整数について十進位取りの記数法を理解し、その表し方について考えることができる	○					○				○	○		7					0.0	6-C

問題の難易度はどうかかな。

学校名	学力を伸ばした児童生徒の割合(%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合(%)	学力の伸び率 (H31学力レベルとH30学力レベルの差の平均)
埼玉県	66.8	33.2	1.8
〇〇市立□□小学校	67.8	32.2	2.2

学力レベル36段階で1以上伸びた児童生徒の割合

帳票 4 2

学力分析データ (前年度在籍クラスを基準にした伸び・学習方略・非認知)クラス別

学力のみ抜粋

昨年度の担任ベースで
並べ替えている

H30 学年	H30 組	児童 生徒 数		学力を伸ばした 児童生徒の割合 (%)		学力の伸び率 (H31学力レベルと H30学力レベルの 差の平均)		H31 学力レベル 平均		H30 学力レベル 平均	
				国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
			県平均	67.7	66.2	1.8	1.7	18.0	18.1	16.2	16.4
5	1	35		74.8	62.1	2.2	1.3	19.0	17.9	16.8	16.6
5	2	36		64.9	76.6	1.4	2.4	17.8	18.9	16.4	16.5

学級ごとの分析

＜例＞学級ごとの分析（小学校・学力）

H29 クラス	学力の伸び		伸びた児童の割合		主体的・対話的 で深い学び	非認知能力 (自己効力感)
	国語	算数	国語	算数		
旧5-1	1.85	3.59	73.4%	96.5%	2.2 (+0.1)	2.4(+0.1)
旧5-2	3.42	1.77	91.8%	75.1%	2.3 (+0.3)	2.6(+0.2)

1組：算数、2組：国語の指導で成果
→お互いの得意分野でのよい指導方法を共有

＜例＞学級ごとの分析（中学校・学力）

H29 クラス	教科 担当	学力の伸び	伸びた生徒の割合	主体的・対話的 で深い学び	非認知能力 (自己効力感)
		数学	数学		
旧2-1	A教諭	2.87	92.8%	2.1 (+0.3)	2.4(+0.2)
旧2-2	B教諭	1.65	74.5%	1.8 (+0.0)	1.8(+0.1)
旧2-3	A教諭	2.36	88.9%	2.2 (+0.1)	2.1(+0.1)

ベテランA教諭は担当クラスの学力等を伸ばしている。
→若手B教諭へ指導法を継承

学力分析データ
 (前年度在籍クラスを基準にした伸び・学習方略・非認知)クラス別

非認知能力・学習方略のみ抜粋

			H30→H31(変化量)											
H30 学年	H30 組	児童生 徒数	アクティ ブ・ラー ニング の実施	学習方略						非認知能力				
				柔軟的 方略	プラン ニング 方略	作業方 略	人的リ ソース 方略	認知的 方略	努力調 整方略	自制心	自己効 力感	やりぬく 力		
			埼玉県平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-0.3
5	1	35		0.2	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	-	-	0.1	
5	2	36		0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	-	-	0.1	

良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業

<現状>

- 子供の学力を「伸ばしている学級」と「伸ばしていない学級」が存在
- 学校・市町村内での共有には限界
(例:小規模学校は教科担任が1名など)
- 授業のポイントやニュアンスは資料だけでは伝わらない

「伸ばしている学級」の取組(良い授業)を見つけることが必要



県内全域に良い授業を広めることが必要

動画などで良い授業を見てノウハウを学ぶことが必要

県学力・学習状況調査の結果から抽出した良い授業を撮影し、編集・加工した研修資料を県内全域に広めることで授業改善を進める。

<事業内容>

良い授業を見つける！

H29 クラス	伸びた児童の割合	
	国語	算数
5-1	73.4%	96.5%
5-2	74.8%	75.1%

良い授業を広める！



良い授業を学ぶ！



①県学調の結果から良い授業を抽出

- 感覚ではなく、データに基づいて、子供を伸ばしている授業を抽出

②良い授業を撮影し、専門家などの解説を付加した動画を作成

- 時間、場所に関わらず良い授業が見られる使える
- 動画を活用した研修の構築

③年次研修、校内研修、自主研究などで活用

- 実際の授業を見ているような臨場感や解説を通して、授業のポイントやニュアンスを実感

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
国語/算数数学/英語	授業撮影・編集(解説の付加など,)研修の構築			年次研修、校内研修、自主研究などで活用

データに基づく効果的な授業を学び、教員の授業改善を通して子供達の学力UP！

学級ごとの分析

<例>学級ごとの分析（学習方略・非認知能力）

	H30結果									
	ALの 実施	学習方略						非認知方略		
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	勤勉性
県平均	2.1	2.4	2.3	2.5	2.8	2.2	2.1	-	2.7	-
市町村平均	2.2	2.5	2.3	2.3	2.8	2.2	2.3	-	2.8	-
○年生平均	2.1	2.4	2.3	2.4	2.8	2.2	2.2	-	2.6	-
●年●組	2.0	2.3	2.2	2.2	2.8	2.2	2.2	-	2.7	-
▲年▲組	2.1	2.5	2.3	2.6	2.8	2.1	2.1	-	2.5	-
学級におけるAL実施状況		状況に合わせて学習方法を柔軟に変更する活動	計画的に学習に取り組む活動	ノートに書くなど、作業を中心とする活動	友達を利用して学習を進める活動	自分の理解度を深める活動	苦手などの感情をコントロールする活動	自分の意思で感情や欲望をコントロールする力	自分ができるという期待や自信	やるべきことをきちんとやることができる力

○ 柔軟的方略・プランニング方略・作業方略に課題がある。

→課題についてどう計画し、どのような作業を通して、解決していくかという見通しがもてていない児童がいることが分かった。

	県平均よりもよい結果
	県平均よりも悪い結果

こんな悩みありませんか？



授業中、学力に課題を抱えている児童にヒントカード等の支援をしているのに、なかなか学力が向上しないな。どうしてだろう？

県学力・学習状況調査の結果から(帳票40)

児童	学力	柔軟的 方略	プランニング 方略	作業方略	人的リソース 方略	努力調整 方略	自己効力感
A	4-C	3.5	1.0	4.2	3.4	3.7	3.6
B	4-C	3.6	3.7	3.5	1.3	1.9	4.2
C	4-C	4.2	4.0	3.1	3.7	3.4	1.3

同じ学力レベルの児童でも、何が原因でつまずいているのかが違うので、つまずきの原因を把握し、個に応じた指導・助言をすることが大切だね。



コバトンのびのびシート

コバトンのびのびシート

学年	学期	年度	正答率	レベル	伸び	読字聞く書く	読む	算数	
		H29	83.3	4-B	3 (1)	78.4	87.3	80.3	
算数	算数	年度	正答率	レベル	伸び	数と計算	量と測定	図形	数量関係
		H29	40.3	5-0	0 (0)	80.3	55.3	58.7	45.3

項目	内容	H29	変化
AL	「主体的・対話的で深い学び」ができていたか	1.4	-0.8
学習姿勢	主体的姿勢	1.6	-0.2
	プランニング姿勢	1.7	-0.1
学習力	作業姿勢	2.8	-0.2
	人的リソース姿勢	2.0	-0.2
学習力	読取姿勢	2.0	-0.2
	努力具現姿勢	1.6	0.2
自己効力感	自分とそれができるという期待や自信	1.2	-0.8

学習姿勢と読取能力の変化

このグラフは、学習姿勢と読取能力の変化を示しています。縦軸はスコア（0から2.5まで）を示し、横軸はH28とH29の各項目を比較しています。H29はH28よりも全項目でスコアが向上しています。

学力（読得）の伸び

このグラフは、学力（読得）の伸びを示しています。縦軸はスコア（0から2.5まで）を示し、横軸はH28とH29の各項目を比較しています。H29はH28よりも全項目でスコアが向上しています。

内容(特筆すべき質問項目を記入)	H29
以上のどの項目も伸ばしていますか	40 (11.8)
学校の授業の手習いよく習えていますか	26 (7.5)
家の人(兄弟姉妹)はのびます」と学校の出来事について話しますか	20 (5.6)

【教科】国語・算数 【年・組・氏名】6年1組1番 埼玉 コバトン

教科	学力テスト(国語)						学力テスト(算数)					
	読字	聞く	書く	読心	漢字	その他	読心	量と測定	図形	数量関係	その他	その他
国語	78	87	40	87	89	90	67	55	50	45	70	40
算数	88	68	56	80	88	97	70	66	66	50	80	45

伸ばしたいところ

国語	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」
算数	「分数」「小数」「割合の計算」「単位換算」「図形の面積」「体積の計算」「割合の計算」「その他」	「分数」「小数」「割合の計算」「単位換算」「図形の面積」「体積の計算」「割合の計算」「その他」
国語	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」
算数	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」	「読む」「書く」「聞く」「読心」「漢字」「その他」
国語	書くことが苦手です。すると文章を書くことができない。そのため、本文を書くときには、構成が行きわたるように、事前に本文の骨格を完成させてから、本文を書くようにさせた。今後本文が完成した時点で、自分で構成を振り返って書くことができるように支援していく必要がある。	
算数	全体的に算数を苦手としている。特に文章問題に苦手意識があるため、量だけができているように見えて、そのための問題を解くことができず、セルフワークを解く、読取まで一人でできるように支援した。今後、たくさん問題を解かせ、自信を付けさせる必要がある。	
国語	読書などによっておもしろいと感じるようになり、読書が習慣化された。今後たくさん読書で楽しむことができるように、	

埼玉県学力・学習状況調査

クロス集計や関連探索ができます。



埼玉県学力・学習状況調査 学校用分析支援プログラム
平成28年度 中学校2年生用メニュー

●分析シート利用方法●

① [「学力の伸び」の階層と児童生徒質問紙の項目](#)
帯グラフで人数とともに表示します。
項目(各教科・領域・観点別の学力の階層及び質問項目)と
「学力の伸び」とのクロス集計を表示させることができます。

○ファイルを開くと、すぐにメニュー画面が立ち上がります。

○使いたい機能をクリックで選択しましょう。

② [「学力の伸び」の項目](#)
帯グラフで人数とともに表示します。
項目(各教科別の学力の階層)と
領域・観点別の結果及び質問項目)との

③ [児童生徒質問紙の項目](#)
帯グラフで人数とともに表示します。
シート)に入力することで、
集計結果を表示することができます。

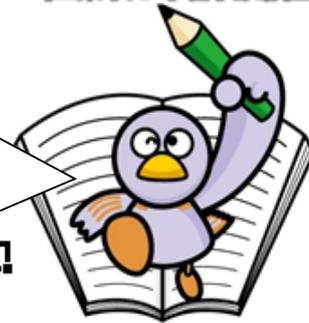
探索のメニューから視座または観点を選ぶと、
選択したものとの関連が高い順に一覧が表示されます。

④ [任意項目入力シート](#)
他調査等の結果などを、このシートに入力することで、本調査とのクロス集計を
⑤クロス集計(児童生徒質問紙の項目と児童生徒質問紙の項目)に表示させることが

メニュー画面

シート構成	
(1)	メニュー
(2)	①クロス集計(「学力の伸び」の階層と児童生徒質問紙の項目)
(3)	②クロス集計(学力の階層と児童生徒質問紙の項目)
(4)	③クロス集計(児童生徒質問紙の項目と児童生徒質問紙の項目)
(5)	④関連探索
(6)	⑤任意項目入力シート

埼玉県学力・学習状況調査

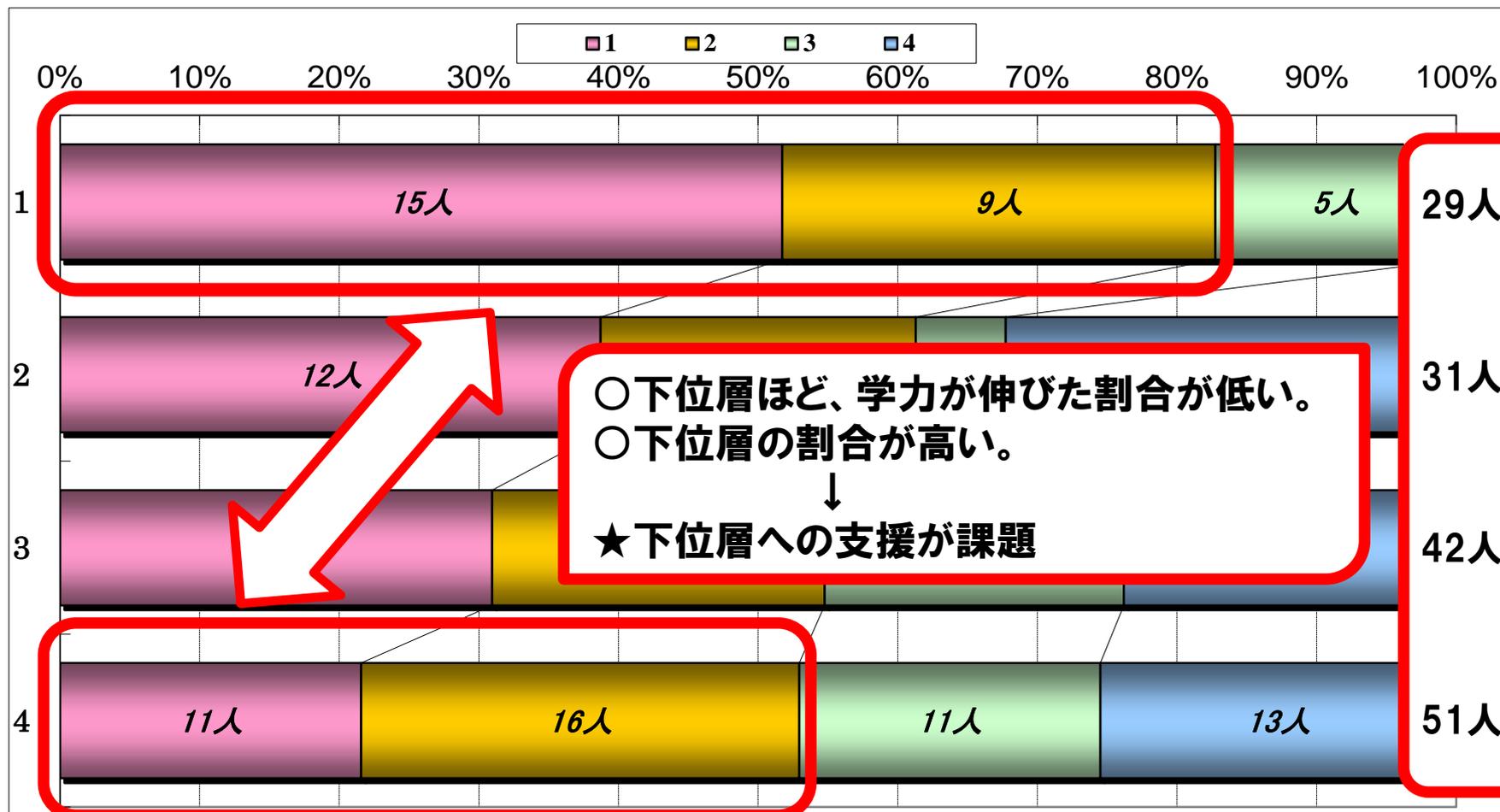


コバトン

これらを活用して、
自校の子供たちの
課題を見つけ、学
力向上につなげま
しょう！

縦軸: 学力階層__数学
 横軸: 学力の伸びの階層__数学

A 中学 2 年生の例

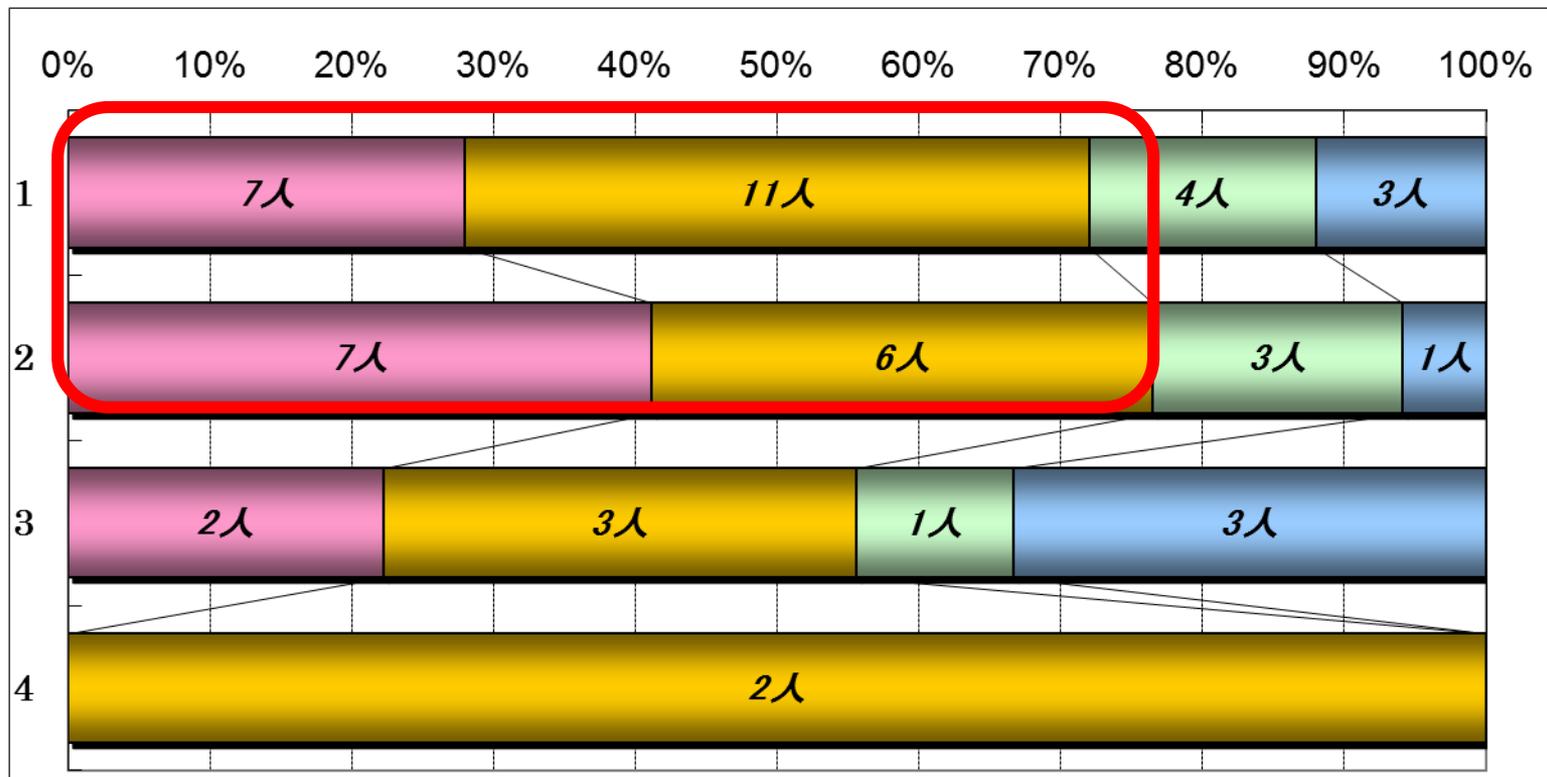


分析支援プログラム(クロス集計)

小学校5年生

縦軸: 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか。

横軸: 学力の伸びの階層(算数)



学力を伸ばしている児童は、失敗をおそれずに挑戦している傾向がある。

探索項目⇒ 算数【観点】《数量や図形についての技能》成績階層

フィルタウで選択するだけで相関係数のリストが出ます！

探索項目(相関係数が高い順に表示)		相関係数
10	算数【領域等】《数と計算》成績階層	強く関連 0.815
11	算数【領域等】《図形》成績階層	強く関連 0.807
12	算数【領域等】《量と測定》成績階層	やや強く関連 0.776
13	算数【観点】《数量や図形についての知識・理解》成績階層	やや強く関連 0.766
14	算数【領域等】《数量関係》成績階層	やや強く関連 0.734
15	算数【観点】《数学的な考え方》成績階層	やや弱く関連 0.688
16	国語【領域等】《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》成績階層	やや弱く関連 0.566
17	国語【観点】《言語についての知識・理解・技能》成績階層	やや弱く関連 0.566
18	国語【領域等】《読むこと》成績階層	やや弱く関連 0.557
19	国語【観点】《読む能力》成績階層	やや弱く関連 0.557
20	国語【領域等】《話すこと・聞くこと・書くこと》成績階層	0.481
21	国語【観点】《話す・聞く能力》成績階層	0.418
22	国語【観点】《書く能力》成績階層	0.369
23	質問《しょう来どの学校まで進みたいと思いますか》	0.321
24	質問《学校の授業科目以外に、ふたつ(同一科目)は、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習しなくて勉強している科目や家庭学習に費やしている時間)》	0.242
25	質問《土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習しなくて勉強している科目や家庭学習に費やしている時間)》	0.238
26	質問《学校の宿題をしていますか》	0.219
27	質問《あなたは、勉強する理由について、どのように考えていますか》《勉強することが楽しい、好きだ》	0.214
28	質問《(小5国語)自分の考えを理由をつけて発表したり、書いたりできたこと》	0.209

- ・相関係数が0.8以上のときは **強く関連**
- ・相関係数が0.7以上のときは **やや強く関連**
- ・相関係数が0.5以上のときは **やや弱く関連** と表示が出ます。
- ・相関係数が0未満のときは 相関係数の値が**赤字**で表記されます。

27

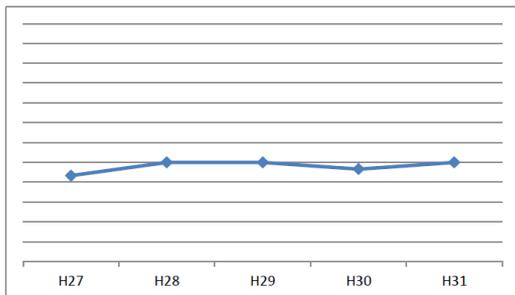
学校用

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査
異なる年度の過去の同学年との比較
〇〇市立〇〇小学校

国語

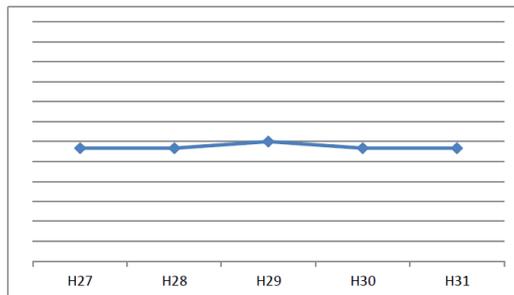
小学校第4学年

年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	13	15	15	14	15



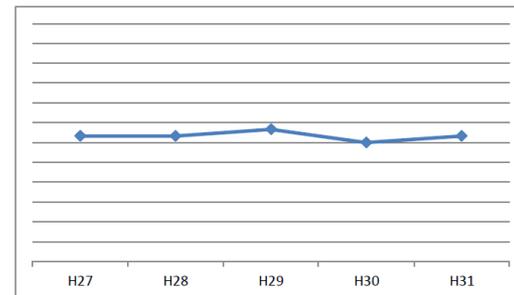
小学校第5学年

年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	17	17	18	17	17



小学校第6学年

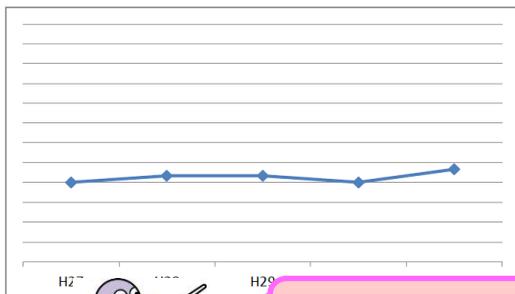
年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	19	19	20	18	19



算数

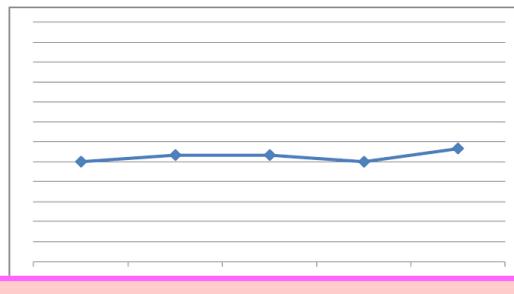
小学校第4学年

年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	12	13	13	12	14



小学校第5学年

年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	15	16	16	15	17



小学校第6学年

年度	H27	H28	H29	H30	H31
レベル(平均)	17	17	18	15	18



今年の〇年生は過去の〇年生と比べてどうかな？

帳票 2

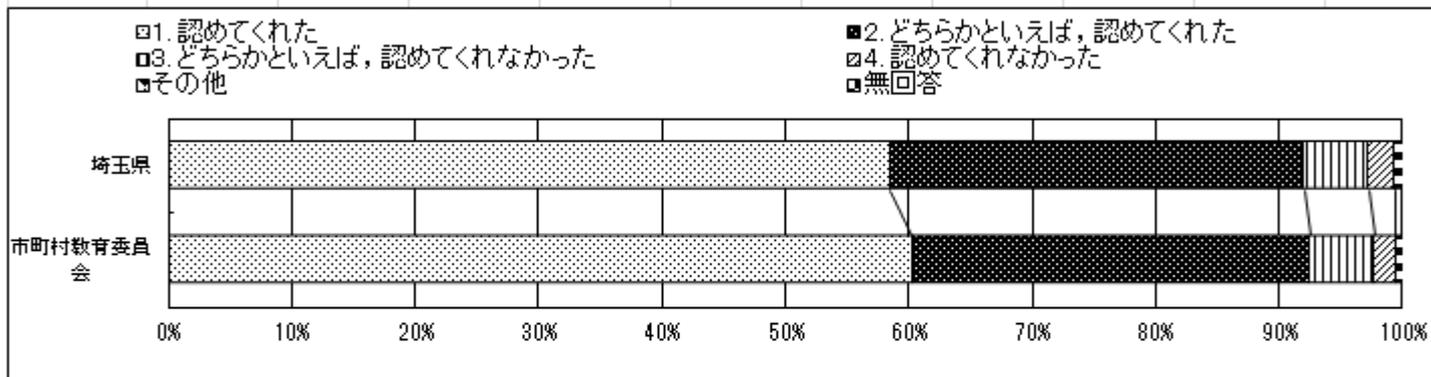
問題の概要(一人一人の各問題に対する正誤と県の平均正答率が表示される。)

1			学校名: ○○小学校							
2	組: 1	出席番号: _____	名前: _____		個人番号: 1626494					
3	平成31年度 埼玉県学力・学習状況調査 国語 小学校 第4学年									
5	大問	小問	問題の概要	学習指導要領の領域等				困難度 レベル	埼玉県 平均正答 率 (%)	正誤
6				話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	国語の 伝統的 な言語 文化と 事項			
9	1	(1)	漢字を読む(音+音)				○	7-C	46.5	X
10		(2)	漢字を書く(訓)				○	4-B	78.4	○
11		(3)	漢字を書く(音+音)				○	7-C	44.0	X
12	2	(1)	文中の主語・述語を選択する				○	7-B	42.6	○
13		(2)	文中の主語・述語を選択する				○	6-B	56.8	X
14	3		熟語を正しく読み、音読みか訓読みかを選択する				○	7-A	36.2	○
15	4		指示語の示す内容を文中から書き抜く				○	5-C	71.1	○
16	5		適切な指示語を選択する				○	4-A	75.1	○
17	6	(1)	反対の意味の言葉を書く				○	3-C	89.1	○
18		(2)	似た意味の言葉を書く				○	5-A	59.7	X
19	7		国語辞典に出てくる順に言葉を並び替える				○	7-A	47.4	X

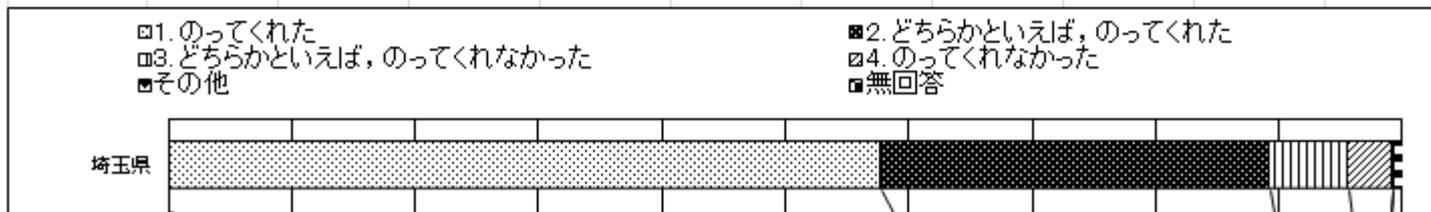
正誤が表示される

一度に40人分作成できる。

651											
652	質問番号	質問事項									
653	(46)	(小4)学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか									
655	選択肢	1. 認めてくれた 2. どちらかといえば、認めてくれた 3. どちらかといえば、認めてくれなかった 4. 認めてくれなかった									
656		1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
657	埼玉県	58.4	33.5	5.3	2.1					0.1	0.6
658	市町村教育委員会	60.3	32.2	5.2	1.8					0.0	0.6
659	本校	70.8	23.6	1.1	3.4					0.0	1.1



660											
661	質問番号	質問事項									
662	(47)	(小4)学校の先生たちは自分のなやみの相談にのってくれましたか									
664	選択肢	1. のってくれた 2. どちらかといえば、のってくれた 3. どちらかといえば、のってくれなかった 4. のってくれなかった									
665		1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
666	埼玉県	57.7	31.5	6.4	3.5					0.1	0.8
667	市町村教育委員会	59.7	30.2	6.2	2.8					0.0	1.1
668	本校	73.0	20.2	0.0	5.8					0.0	1.1



効果的な取組を学校全体で共有

学力の伸びを
学校ごと
教員ごと
に分析する

□□先生の☆☆の指導方法
も子供を伸ばしてますよ。

〇〇先生の△△の
指導方法が子供を
伸ばしてますね。

私もその実践に
取り組んでみよう!!

これまでの
実践はよかったんだ～

優れた指導方法を出し合って共有！

3 おまけに...



平成30年度県学調査データ活用事業分析結果概要

学力の維持向上には、学習時間の確実な確保が重要

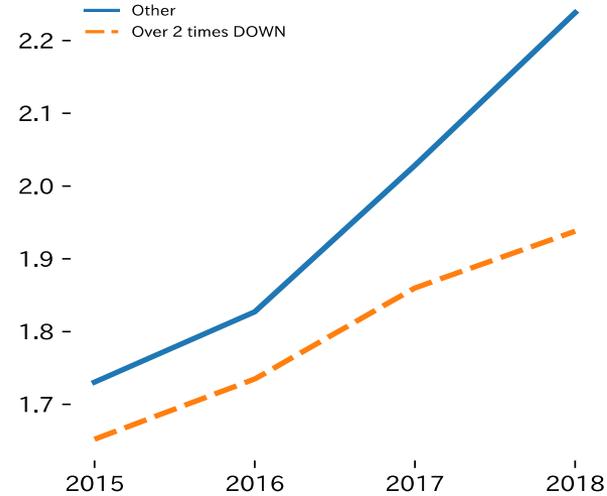
①学力の維持向上と学習時間の長さは強く関係

＜学力向上と学習時間の関係＞

学校の授業時間以外に
どれくらいの時間勉強しますか(平日)



学校の授業時間以外に
どれくらいの時間勉強しますか(休日)



学力が伸び悩んでいる児童生徒
(過去4年または3年間で2回以上伸び悩んだ生徒)

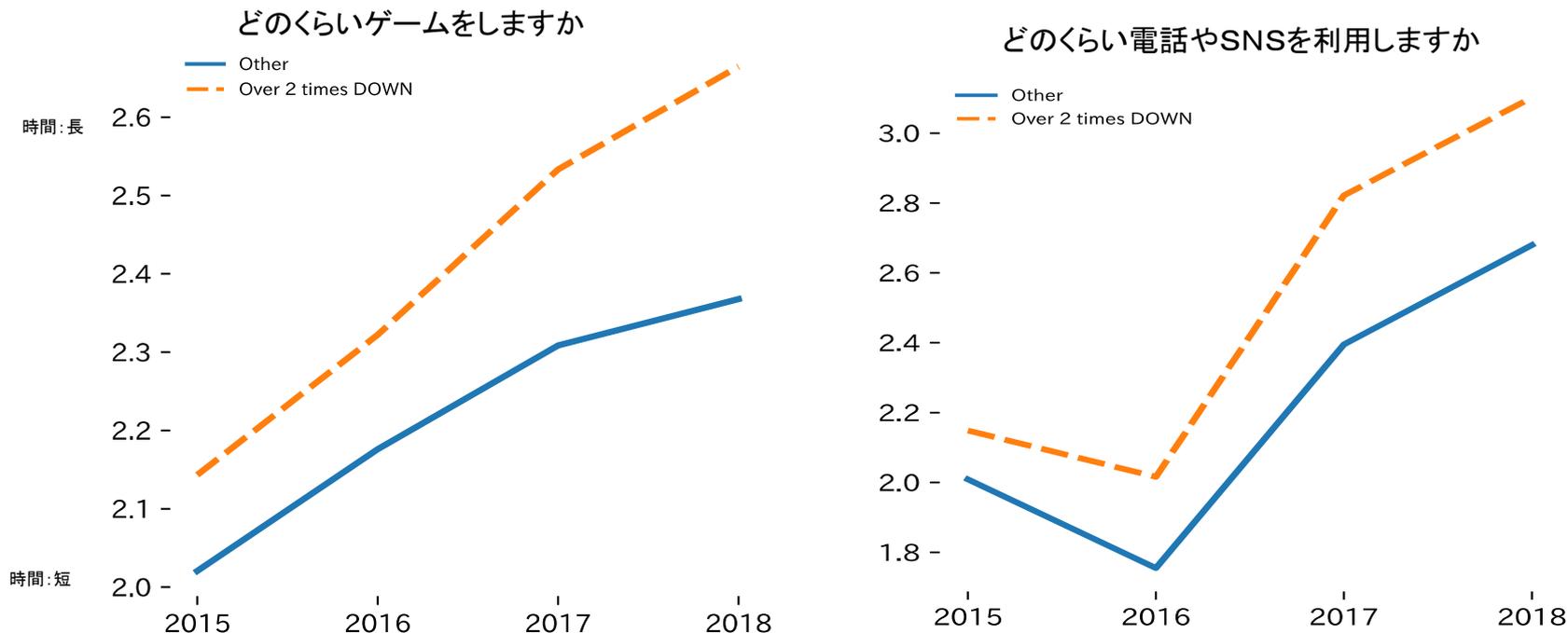
上記以外の児童生徒

学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒の学習時間などの状況について分析

- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、**学力を維持向上できている児童生徒の方が学習時間が長い。**
- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、**学年が上がるにつれて、学習時間の長さの乖離が生じる。**
- その他、宿題の実施状況や予習・復習の実施状況なども同様の傾向が見られる。

②学力の維持向上とゲームやSNSの利用時間の長さは関係

＜学力向上とゲームやSNSの利用時間の関係＞



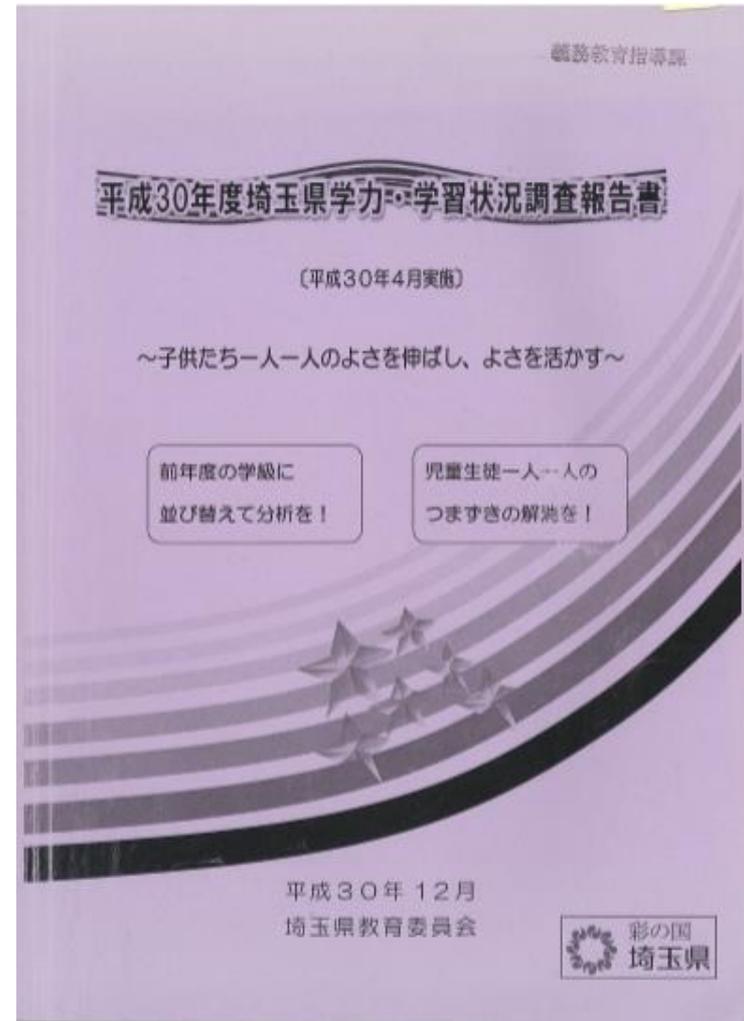
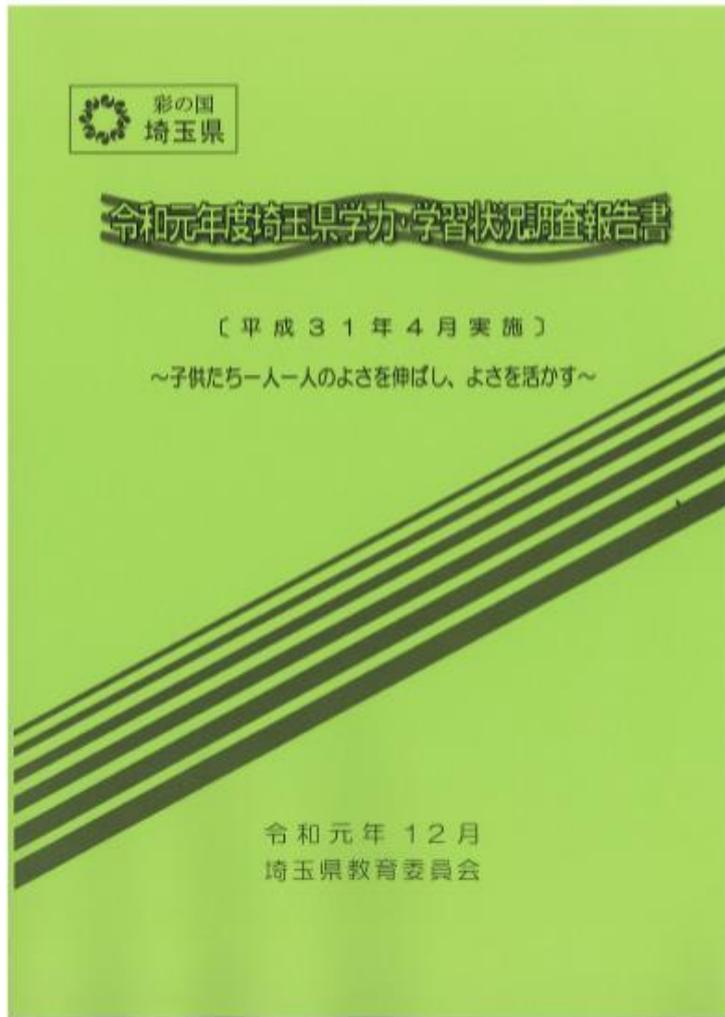
学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒のゲームやSNSの利用時間などの状況について分析

- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、**学力を維持向上できている児童生徒の方がゲームやSNSの利用時間が短い。**
 - 「ゲームやSNS利用について、家での約束を決めているか」という質問に対して**学力を維持向上できている児童生徒の家庭の方がルール作りが行われている。**
- 学習時間とゲームやSNSの利用時間の間にも関係性があると考えられる。
(学習時間が長い→ゲーム等の時間が短い)

4 お祝い...



埼玉県学力・学習状況調査報告書



県や全国の学力・学習状況調査で
学力を伸ばしている学校で
共通していたことは、

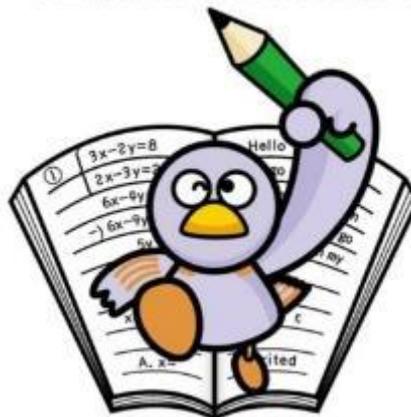
共通
理解

共通
行動

徹底

御清聴ありがとうございました。

埼玉県学力・学習状況調査



コバトン